



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 日本電通株式会社

コード番号 1931 URL <http://www.ndknet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上 敏郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 森本 恒雄

TEL 06-6577-4114

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,222	△4.1	17	△67.1	55	△42.6	36	18.5
23年3月期第2四半期	10,657	2.5	54	△31.2	96	△17.4	31	△76.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 39百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △42百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.92	—
23年3月期第2四半期	2.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	14,444	8,417	58.1
23年3月期	16,208	8,537	52.6

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 8,398百万円 23年3月期 8,519百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,900	0.8	410	△20.2	480	△18.0	310	△19.2	24.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	13,428,000 株	23年3月期	13,428,000 株
24年3月期2Q	941,986 株	23年3月期	808,997 株
24年3月期2Q	12,590,622 株	23年3月期2Q	12,911,361 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手している情報に基づき判断した予想であり、実際の業績とは異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
四半期連結受注高及び完成工事高の状況	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの復旧や個人消費の持ち直し傾向が見られるものの、電力の供給問題や欧米諸国における財政問題を原因とする円高や世界的な景気減速懸念もあり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主な事業領域であります情報通信分野におきましては、光アクセスを活用したブロードバンドサービスの進展に伴い、ユビキタスネットワーク社会の実現に向け次世代ネットワーク（NGN）の構築、ならびにスマートフォン等携帯移動端末の普及により、超高速LTEサービスによる無線のブロードバンド化が活発化しております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、事業を統括する組織として三本部体制を構築、当期目標を達成すべく、当期の重点施策を着実に遂行するよう努めているところであり、特に受注拡大につきましては顧客の投資ニーズを的確に把握した受注活動に注力しております。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、東日本大震災後の投資回復が想定より遅れていることもあり、受注高は104億38百万円（前年同期比10.3%減）、売上高は102億22百万円（前年同期比4.1%減）といずれも減少いたしました。

一方損益面につきましては、経営基盤改革による生産性向上及び経費節減に努めたものの、激しい受注競争から採算面での厳しさもあり、営業利益17百万円（前年同期比67.1%減）、経常利益は55百万円（前年同期比42.6%減）となりましたが、四半期純利益は税効果の影響もあり、36百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

（通信エンジニアリング事業）

通信エンジニアリング事業における、受注高は54億99百万円（前年同期比12.7%減）、売上高は55億83百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は3億44百万円（前年同期比12.3%減）となりました。

（ICTサービス事業）

ICTサービス事業における、受注高は41億48百万円（前年同期比7.1%減）、売上高は39億5百万円（前年同期比8.9%減）、セグメント利益は78百万円（前年同期比50.1%減）となりました。

（その他）

その他事業における、受注高は7億91百万円（前年同期比9.7%減）、売上高は7億34百万円（前年同期比16.0%減）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期は79百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の財政状態は、総資産は144億44百万円で前連結会計年度末比17億64百万円の減少となりました。これは流動資産においては94億93百万円と、前連結会計年度末比18億78百万円減少し、固定資産が49億50百万円と、前連結会計年度末比1億14百万円増加したことによります。

流動資産の減少の主な要因は、「受取手形・完成工事未収入金等」が前連結会計年度末比21億55百万円減少したこと等であります。

固定資産の増加の主な要因は、「無形固定資産」が前連結会計年度末比1億81百万円増加したこと等でありです。

負債の部は60億26百万円で、前連結会計年度末比16億44百万円減少しました。内訳は流動負債で前連結会計年度末比15億23百万円減少し、固定負債で前連結会計年度末比1億20百万円減少しております。

流動負債の減少の主な要因は、「支払手形・工事未払金等」が前連結会計年度末比16億10百万円減少したこと等でありです。

固定負債の減少の主な要因は、「退職給付引当金」が前連結会計年度末比80百万円減少したこと等でありです。

純資産は84億17百万円で前連結会計年度末比1億20百万円の減少となりました。主な要因としましては、「利益剰余金」が前連結会計年度末比89百万円減少したこと等でありです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.6%から58.1%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が予想されておりますが、通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、引き続き積極的な営業展開により受注拡大に向けた取り組みを強化してまいります。お客様の設備投資の減少や発注遅れなどの影響もあり、依然厳しい状況が続くものと予想されます。

損益面につきましては、引き続きコスト削減や経費の節減等に努めてまいります。通期見通しにつきましては以下のとおり予想しております。

平成24年3月期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 24,800	百万円 520	百万円 590	百万円 350	円銭 27.74
今回発表予想 (B)	23,900	410	480	310	24.83
増減額 (B-A)	△900	△110	△110	△40	—
増減率 (%)	△3.6	△21.2	△18.6	△11.4	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	23,711	513	585	383	29.83

※上記の業績予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,233,231	2,692,640
受取手形・完成工事未収入金等	6,181,299	4,026,214
有価証券	1,706,671	1,256,366
未成工事支出金	908,582	1,170,844
商品	35,494	32,233
材料貯蔵品	8,768	7,754
その他	304,608	311,499
貸倒引当金	△6,001	△3,831
流動資産合計	11,372,654	9,493,722
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,214,101	2,214,101
その他(純額)	1,103,450	1,060,952
有形固定資産合計	3,317,551	3,275,053
無形固定資産	130,957	312,329
投資その他の資産		
投資有価証券	976,839	983,012
その他	431,174	399,501
貸倒引当金	△20,530	△19,507
投資その他の資産合計	1,387,483	1,363,006
固定資産合計	4,835,992	4,950,389
資産合計	16,208,646	14,444,111
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	3,843,749	2,233,409
短期借入金	1,900,000	1,900,000
未払法人税等	17,026	37,132
賞与引当金	169,277	232,962
工事損失引当金	18,382	12,825
その他	487,489	496,146
流動負債合計	6,435,924	4,912,476
固定負債		
退職給付引当金	789,094	708,761
負ののれん	30,454	22,111
その他	415,185	382,924
固定負債合計	1,234,734	1,113,797
負債合計	7,670,658	6,026,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,493,931	1,493,931
資本剰余金	1,428,916	1,428,916
利益剰余金	5,845,663	5,756,284
自己株式	△242,700	△276,247
株主資本合計	8,525,810	8,402,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,978	83,425
土地再評価差額金	△88,194	△88,194
その他の包括利益累計額合計	△6,216	△4,769
少数株主持分	18,394	19,722
純資産合計	8,537,988	8,417,837
負債純資産合計	16,208,646	14,444,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,657,447	10,222,979
売上原価	9,457,105	9,055,980
売上総利益	1,200,342	1,166,998
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	430,500	454,093
賞与引当金繰入額	72,998	74,517
退職給付費用	14,723	18,865
その他	627,702	601,625
販売費及び一般管理費合計	1,145,924	1,149,102
営業利益	54,417	17,895
営業外収益		
受取利息配当金	24,266	21,269
その他	44,908	29,988
営業外収益合計	69,175	51,258
営業外費用		
支払利息	11,892	9,702
不動産賃貸費用	3,785	3,633
その他	11,909	754
営業外費用合計	27,586	14,090
経常利益	96,006	55,063
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,567	—
特別損失合計	17,567	—
税金等調整前四半期純利益	78,438	55,063
法人税、住民税及び事業税	53,180	32,053
法人税等調整額	3,629	△14,944
法人税等合計	56,810	17,109
少数株主損益調整前四半期純利益	21,628	37,953
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△9,446	1,142
四半期純利益	31,074	36,811

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,628	37,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,962	1,632
その他の包括利益合計	△63,962	1,632
四半期包括利益	△42,334	39,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,080	38,258
少数株主に係る四半期包括利益	△9,254	1,327

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通信エンジニアリング 事業	I C Tサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,495,411	4,287,586	9,782,998	874,449	10,657,447	—	10,657,447
セグメント間の内部売上高 又は振替高	657	819	1,477	127,911	129,388	△129,388	—
計	5,496,069	4,288,406	9,784,475	1,002,361	10,786,836	△129,388	10,657,447
セグメント利益又は損失 (△)	392,615	156,764	549,380	△79,081	470,299	△415,882	54,417

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、映像音響システムの設計・施工・保守・運用の事業、警備業および業務受託等の事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△415,882千円には、セグメント間取引消去11,753千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△427,635千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通信エンジニアリング 事業	I C Tサー ビス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,583,034	3,905,166	9,488,200	734,778	10,222,979	—	10,222,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,566	4,986	6,552	87,272	93,825	△93,825	—
計	5,584,600	3,910,152	9,494,753	822,050	10,316,804	△93,825	10,222,979
セグメント利益	344,230	78,287	422,517	13,072	435,590	△417,694	17,895

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、映像音響システムの設計・施工・保守・運用の事業、警備業および業務受託等の事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△417,694千円には、セグメント間取引消去10,389千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△428,083千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

四半期連結受注高及び完成工事高の状況

(単位：百万円)

	部 門 別	平成23年3月期 第2四半期連結累計期間		平成24年3月期 第2四半期連結累計期間		比較増減	増減率
		金 額	構成比	金 額	構成比		
受 注 高	通信エンジニアリング事業	6,298	(54.1%)	5,499	(52.7%)	△799	△12.7%
	I C Tサービス事業	4,466	(38.4%)	4,148	(39.7%)	△318	△7.1%
	報告セグメント計	10,764	(92.5%)	9,647	(92.4%)	△1,117	△10.4%
	そ の 他	876	(7.5%)	791	(7.6%)	△84	△9.7%
	合 計	11,641	(100.0%)	10,438	(100.0%)	△1,202	△10.3%
売 上 高	通信エンジニアリング事業	5,495	(51.6%)	5,583	(54.6%)	87	1.6%
	I C Tサービス事業	4,287	(40.2%)	3,905	(38.2%)	△382	△8.9%
	報告セグメント計	9,782	(91.8%)	9,488	(92.8%)	△294	△3.0%
	そ の 他	874	(8.2%)	734	(7.2%)	△139	△16.0%
	合 計	10,657	(100.0%)	10,222	(100.0%)	△434	△4.1%